

分析機器部門講習会シリーズ

新技術の紹介 シングルセル分離解析システム

本セミナーでは、Sphere Fluidics 社の開発したシングルセル分離解析システムの紹介と、抗体スクリーニングや細胞治療における活用例等についてお話しします。

日 時 : 平成29年8月31日(木) 14:00～15:00

講 師 : Frank Gesellchen(PhD), Sara Abalde-Cela(PhD), Ashok Sinha(PhD)

講習内容 : シングルセル分離解析システムの紹介
解析システムを用いた各種スクリーニング例や活用例
(講演は英語で行います)

場 所 : 医系研究棟3号館4階 分析機器部門実習室

定 員 : 20名程度

申込期間 : 平成29年8月28日(月)まで

申込方法 : 電子メールで、「所属講座」、「氏名」、「内線番号」、
「メールアドレス」を明記の上、件名を「シングルセルセミナー」
として ikuyo@med.nagoya-u.ac.jp 宛にお申し込みください。

お問い合わせ先

医学教育研究支援センター 分析機器部門

担当: 水口 (内線: 2404、Email: ikuyo@med.nagoya-u.ac.jp)

※Webでも講習会情報を掲載しています (<http://www.med.nagoya-u.ac.jp>)

新規

シングルセル分離解析 テクノロジー

Therapeutics Discovery and Diagnostic Application

日時: 2017年8月31日(木)

14:00 ~ 15:00 (開場13:30)

場所: 医系研究棟3号館4階
分析機器部門 実習室

【内容】

マイクロ流路を利用したシングルセル分離解析技術は、膨大な数のアッセイを迅速かつ並行して実施できるハイスループット性や、1アッセイに要する試薬がごく微量である点などから、診断や生物学における検査・研究手法に大きな革新をもたらすと期待されています。我々の開発した新規シングルセル解析システムは、ピコドロップレット技術とマイクロ流路を用いることで、数時間で最大100万個もの細胞をハイスループットに処理することができます。さらにピコドロップレットに閉じ込めることで、微小容量内での反応を一細胞ごとに解析できるため、膨大なサンプルプールから抗体産生細胞や希少細胞といった標的細胞のスクリーニングと単離を実現します。

当該テクノロジーを用いた下記の内容についてお話をさせていただきます。

- ・抗体スクリーニング
- ・薬剤耐性菌と抗生物質スクリーニング
- ・細胞治療における活用
- ・合成生物学

講演は英語で行います。

【演者】



Frank Gesellchen, PhD (Senior Scientist, Sphere Fluidics Limited, Cambridge)

Sara Abalde-Cela, PhD

(Research Fellow, International Iberian Nanotechnology Laboratory, Portugal)

Ashok Sinha, PhD (Business Development Manager, CELL, Cambridge)

【主催】

株式会社シングルセルテクノロジー

info@singlecell-t.com

東京都千代田区丸の内1丁目6番2号丸の内センタービルディング9F



【協力】

Sphere Fluidics Limited



<http://www.spherefluidics.com/>